

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

| | | | | | | | |
|---|--|---|---|--------------|--|-----------|--|
| 事業名 一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道（関～養老） <small>せき ようろう</small> | 事業区分 一般国道 | 事業主体 国土交通省 中部地方整備局 中日本高速道路（株） | | | | | |
| 起終点 自：岐阜県関市広見 <small>せき ひろみ</small> 至：岐阜県養老郡養老町大跡 <small>ようろう ようろう おおあと</small> | 延長 44.2km | | | | | | |
| 事業概要 一般国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約153kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）である。 本事業は、東海環状自動車道の一部を構成しており、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することによる、環状道路内の渋滞緩和、地域経済の活性化、観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保を目的に計画された道路である。 | | | | | | | |
| H6年度事業化 | | H8年度都市計画決定 | | H13年度用地着手 | | H19年度工事着手 | |
| 全体事業費 6,075億円 | | 事業進捗率 約76% （平成31年3月末時点） | | 供用済延長 16.7km | | | |
| 計画交通量 27,200台/日 | | | | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C （事業全体） 1.4 （1.4） （残事業） 3.2 （4.7） | 総費用 （残事業）/（事業全体） 3,965/16,603億円 事業費：3,378/15,599億円 維持管理費：587/1,004億円 | 総便益 （残事業）/（事業全体） 12,679/23,163億円 走行時間短縮便益：11,589/21,003億円 走行経費減少便益：852/1,680億円 交通事故減少便益：238/480億円 | 基準年 令和元年 | | | |
| 感度分析の結果 | | | | | | | |
| （事業全体） 交通量 : B/C = 1.3 ~ 1.5 (交通量 ±10%) | | （残事業） 交通量 : B/C = 2.9 ~ 3.5 (交通量 ±10%) | | | | | |
| 事業費 : B/C = 1.4 ~ 1.4 (事業費 ±10%) | | 事業費 : B/C = 2.9 ~ 3.5 (事業費 ±10%) | | | | | |
| 事業期間 : B/C = 1.3 ~ 1.4 (事業期間 ±20%) | | 事業期間 : B/C = 3.2 ~ 3.3 (事業期間 ±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 | | | | | | | |
| ①円滑なモビリティの確保 ・環状道路内の高速道路等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・環状道路内の高速道路等の混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・中部国際空港へのアクセス向上が見込まれる。 | | | | | | | |
| ②物流効率化の支援 ・名古屋港、四日市港へのアクセス向上が見込まれる。 | | | | | | | |
| ③都市の再生 ・都市再生プロジェクトを支援する事業である。 ・名古屋大都市圏の環状道路を形成する事業である。 | | | | | | | |
| ④国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 | | | | | | | |
| ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援する。 ・ICからのアクセスが向上する主要な観光地（岐阜・西濃地域）が存在する。 | | | | | | | |
| ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 | | | | | | | |
| ⑦安全な生活環境の確保 ・環状道路内側に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少等により、当該区間の安全性の向上が期待できる。 | | | | | | | |

